

先の 10 月 18 日(日)に行われた新試験制度 2 回目となる平成 21 年秋期の情報処理技術者試験について、先月発表された IT パスポート/基本情報試験以外の 6 試験の合格発表がありました。同時に発表されたスコア分布などの統計データをもとに、情報セキュリティスペシャリスト試験の合格発表コメントをお知らせします。

## ■情報セキュリティスペシャリスト試験 (SC)

[平成 21 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験 統計情報]

応募者	26,666 人
受験者	17,980 人
合格者	3,326 人
合格率	18.5%

情報セキュリティスペシャリスト試験は、昨年まで行われていたテクニカルエンジニア (情報セキュリティ) 試験と情報セキュリティアドミニストレータ試験が統合された新試験で、ややテクニカル寄りの内容を出題することが試験センターから発表されています。

第 2 回目の実施となる平成 21 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験では、前回の平成 21 年春期の試験に比べ応募者が 1,300 人ほど増えました。合格率は前回の試験と比べて 2.5% 増加した 18.5% で、過去の試験含めて過去最高の合格率でした。

まずは、新試験で従来の午前試験が分割された午前 I と午前 II の試験の分析結果をお知らせします。

### [午前 I 試験 (高度試験の共通知識問題)]

- ・高度試験に共通して出される問題 30 問は、前回の試験と同様にすべて応用情報技術者試験 (AP) から選ばれていました。過去問題の比率は 6 割弱で従来よりも減少傾向にあります。
- ・分野別の出題比率も前回と同じで、出題範囲の中で 23 ある中分類から最低 1 問出題されています。今回の試験で 2 問出題された中分類は次のとおりです。

(2 問出題された中分類)

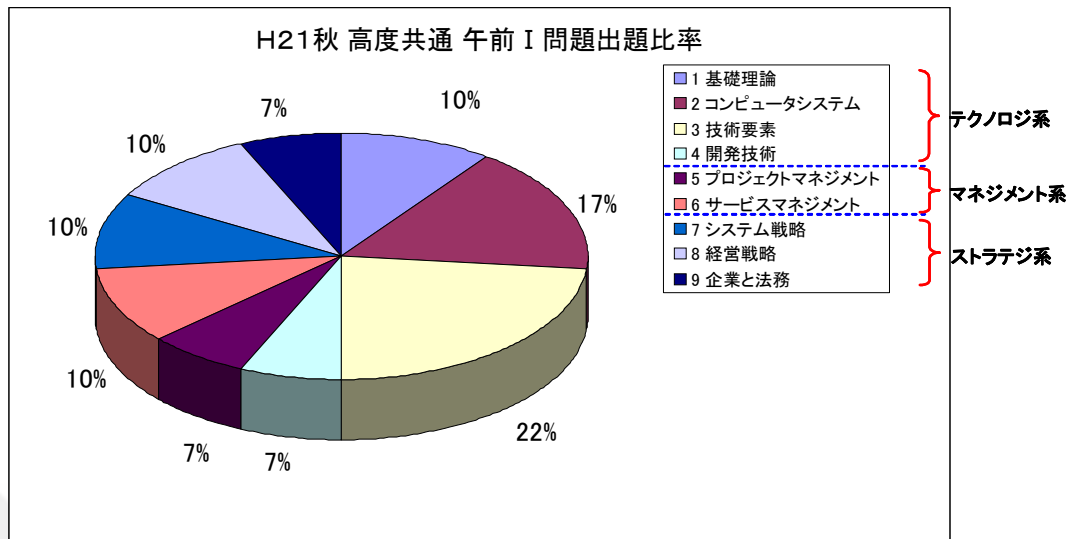
基礎理論, システム構成要素, データベース, セキュリティ, プロジェクトマネジメント, サービスマネジメント, システム戦略

- ・新傾向または新しい用語に関する問題は次のとおりです。

(新傾向問題)

- 問 3 (=AP 問 5) 連結リストの処理時間,
- 問 9 (=AP 問 25) Web アクセシビリティ,
- 問 18 (=AP 問 51) アードバリュー分析,
- 問 21 (=AP 問 57) ITIL のプロセス,
- 問 22 (=AP 問 59) 監査調書,
- 問 23 (=AP 問 62) ビジネスアーキテクチャ,
- 問 25 (=AP 問 67) RFI

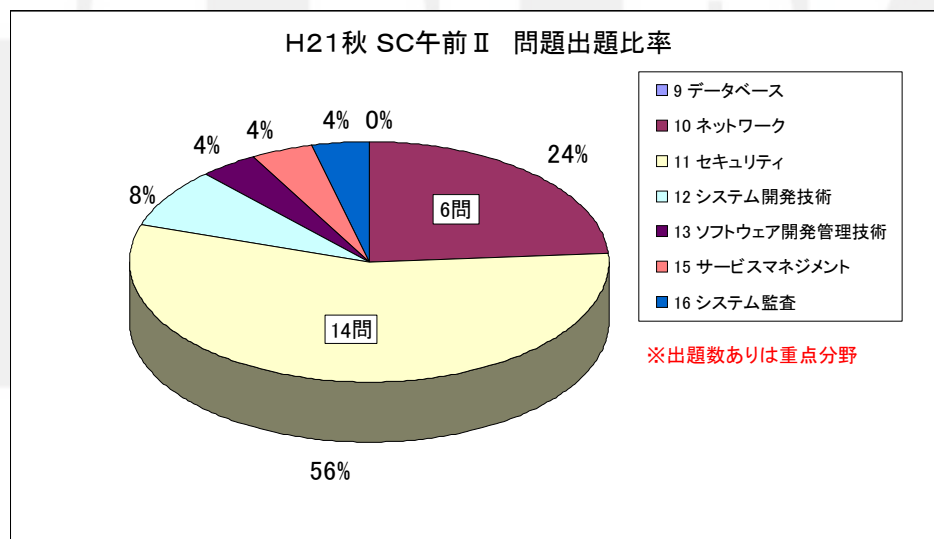
平成 21 年秋期の高度試験共通 午前 I 問題出題比率



〔午前 II 試験（専門知識問題）〕

午前 II 試験は基本的な問題が多く、ネットワークとセキュリティの専門知識の出題数は、それぞれ 6 問と 14 問の合計 20 問でした。前回の試験ではそれぞれ 3 問と 12 問（合計 15 問）でしたので、専門分野重視の傾向に変わったといえます。

平成 21 年秋期の情報セキュリティスペシャリスト試験 午前 II 問題出題比率



〔午後問題〕

・午後 I 問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。解答数が 3 問から 2 問に減りましたが、前回試験と同様に 1 問あたりの設問数が多く、受験者負担はあまり変わりませんでした。また、今回の出題内容はマネジメント寄りの問題が多く、前回に比べてやや易しかったといえます。

- 問 1 電子メールからの情報漏えい（マネジメント寄り） やや易
- 問 2 Java アプレット（技術寄り） やや易～やや難
- 問 3 IC カード認証（マネジメント系） やや易
- 問 4 ノート PC の情報漏えい対策（マネジメント系） 普通

- ・午後Ⅱ問題の出題分野とテーマは、次のとおりです。問1がマネジメント寄り、問2が技術寄りの問題でした。難易度は前回とほぼ同じレベルだったと思います。

問1 認証・認可基盤構築の実施計画（マネジメント系） **普通**

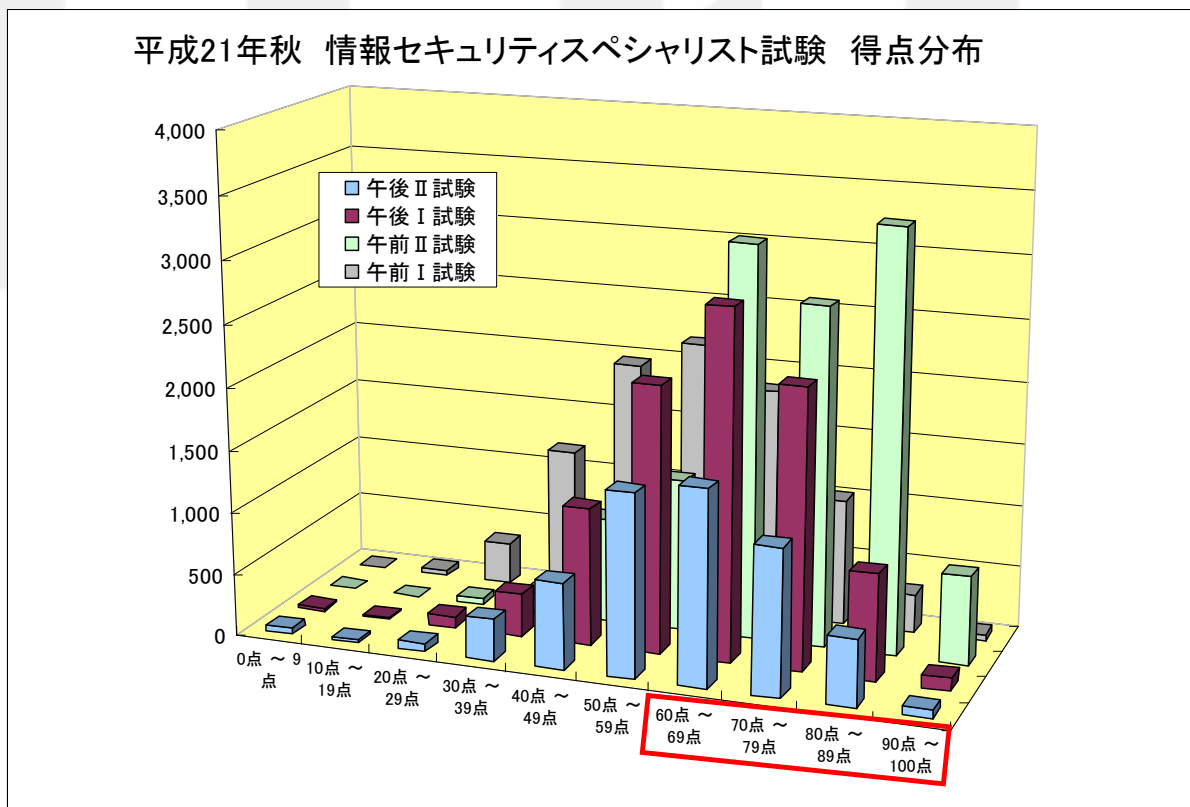
問2 社内LANの見直し（技術系） **やや易**

〔平成21年秋 情報セキュリティスペシャリスト試験 スコア分布〕

平成21年秋 SC	応募者	受験者	合格者
人数	26,666	17,980	3,326
率		67.4%	18.5%

得点	午前Ⅰ試験	午前Ⅱ試験	午後Ⅰ試験	午後Ⅱ試験	合格者
0点～9点	3	1	23	50	
10点～19点	41	3	14	23	
20点～29点	343	50	91	70	
30点～39点	1,184	154	349	333	
40点～49点	1,960	840	1,105	694	
50点～59点	2,176	1,226	2,138	1,460	
60点～69点	1,850	3,143	2,789	1,554	
70点～79点	1,013	2,711	2,232	1,166	
80点～89点	310	3,360	851	540	
90点～100点	47	709	103	66	
計	8,927	12,197	9,695	5,956	3,326
対前試験比率		136.6%	79.5%	61.4%	55.8%
午前Ⅰ免除者(概数)	9,053	50.4%			

合格者数	3,326	採点者数の割合	合格者数との差
午前Ⅰ60点以上合計	3,220	36.1%	-106
午前Ⅱ60点以上合計	9,923	81.4%	6,597
午後Ⅰ60点以上合計	5,975	61.6%	2,649
午後Ⅱ60点以上合計	3,326	55.8%	0



新試験制度で春期の試験で午前Ⅰ試験免除になった人がたくさん出ましたが、得点分布を分析してみると、今回午前Ⅰ試験の免除者は概算で 9,053 人 (50.4%) おり、受験者の約半数は午前Ⅱからの受験となりました。次回の午前Ⅰ免除者数はさらに増えると予想されます。

次に高度系共通の午前Ⅰ試験で基準点 (60 点) 以上の人は 3,220 人(受験者の 36.1%)で最初の試験で足をすくわれてしまった人がたくさんいました。午前Ⅰ試験から受験する人は確実に出題範囲の知識を理解する必要があります。

午前Ⅱ試験で基準点以上の人は 9,923 人(受験者の 81.4%)と非常に高率になっており、問題の難易度としてはレベル 4 といえる問題が少ないこともあり全体に易しかったといえます。他の高度試験でも同じような傾向があり、今後は午前Ⅱ試験の難易度はもう少し高くなると予想します。

午後Ⅰで基準点 (60 点) 以上取れた人はそれぞれ 61.6%で、前回試験の 47.3%と比べて 15%ほど上がっており、前回よりも易しかったことが裏付けられています。最後に午後Ⅱで基準点 (60 点) 以上取れた人は 55.8%で、前回試験の 51.3%よりもわずかに増加しました。

午後の試験で合格スコアに至らなかった方は、次回試験の対策として、「午前試験で出題される専門知識の理解度をまず上げる」、その次に、「午後試験で必要とされている知識を題材として、さらに深く学習する」ということを繰り返し行うとよいでしょう。

## ■合否別の試験対策と通信教育、セミナーのご案内

(今回合格された人へ)

合格された方で来春の情報セキュリティスペシャリスト、データベーススペシャリストやエンベデッドシステムスペシャリスト、プロジェクトマネージャ、システム監査技術者試験を目指す方は、午前Ⅰ試験は免除になりますので、午前Ⅱの専門分野知識についてなるべく早く試験対策を始めてください。

午後Ⅱ試験が論文となるプロジェクトマネージャ、システム監査技術者試験を受けられる方は、新試験の内容や出題範囲をよく理解して学習することが必要です。論文試験で合格点の A 評価を取るためには第三者の添削が欠かせません。アイテックの通信教育では必要なテキスト、模擬試験に加え、論文添削も行っていますので、ぜひご利用ください。

アイテックで出版している試験対策用の教科書 (基礎テキスト) は新試験用にレベルごとと分野ごとに新たに編集し直したものです。また、出題ポイントを効率的に学習するための「合格への総まとめ」、各試験別の予想問題集、本試験問題は新試験対策用に大改訂しています。これらすべての書籍が書店またはアイテックの Web ページ (<http://www.itec.jp/shop/>) でご購入いただけます。ぜひご利用下さい。

通信教育コースでは、高度系の午前Ⅰ試験が免除になる方のために最適な教材 (高度専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験 (2 回)、論文添削 (2 回; 午後Ⅱが論述試験のコース対象) をお得なセット価格でご提供する標準学習時間 3 か月の「免除コース」(2010 年 1 月開講) をお勧めします。ぜひ、ご利用ください。

午前Ⅰ試験に出題される IT 共通知識のレベル 3 も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト (分野別全 6 冊)、午前Ⅰ対策用「合格への総まとめ」、専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験 (2 回)、論文添削 (2 回; 午後Ⅱが論述試験のコース対象) をすべて含んだ標準学習期間 6 か月の「総合コース」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集 (予想問題集、本試験問題集) と模擬試験 (2 回)、論文添削 (2 回; 午後Ⅱが論述試験のコース対象) をセットにした標準学習時間 4 か月の「速習コース」ほか、各コースの e ラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「合格ゼミ」は、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。締切りの

近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

#### ◆今回残念ながら不合格だった人◆

まず、午前Ⅰの試験で50点に満たなかった人は、自分がよく理解していない内容について早めの学習が必要です。時間のない方は、「2010 合格への総まとめ 応用情報・高度 午前共通知識対策」で出題ポイントと必須問題で効率的に学習を進めましょう。基本事項を理解していない人や苦手な分野がある人は、アイテック刊行の新試験用のレベル3の教科書（通信教育教材）でじっくり学習することをお勧めします。

今回の午前Ⅰ、午前Ⅱ試験の得点が50点～59点の人は、合格までほんとうに“あと一歩”のところまで実力が来ていますので、学習した知識が薄れないうちに、早めに次回試験の対策として復習を行い、新たに加わった分野の学習を始めましょう。また、午後試験の得点が60点に満たなかった人は、まず午前Ⅱの専門知識の内容に関して、午後試験問題を解答するのに必要な知識を確実に理解してください。

次に確実な解答を出すために、落ち着いて問題を解き、解答が正しいかを検証する力を付けましょう。新試験では選択範囲が広がったことで解答しやすくなるとも言えますので、チャンスが広がると考え、早めに対策を行いましょう。なお、午後試験に強くなるには、時間を決めた問題演習やアイテックの模擬試験を会場で受けるなど、試験会場の環境を考えたいうで問題を解く訓練を行うのが有効です。

通信教育コースでは、午前Ⅰ試験免除対象の方のために最適な教材（高度専門知識・午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2回）、論文添削（2回；午後Ⅱが論述試験のコース対象）をお得なセット価格でご提供する標準学習時間3か月の「**免除コース**」（2010年1月開講）をお勧めします。ぜひ、ご利用ください。

午前Ⅰ試験に出題されるIT共通知識のレベル3も含めて、総合的に学習したい方には、基礎テキスト（分野別全6冊）、午前Ⅰ対策用「合格への総まとめ」、専門知識テキスト、午後試験重点対策テキスト、予想問題集、本試験問題集、模擬試験（2回）、論文添削（2回；午後Ⅱが論述試験のコース対象）をすべて含んだ標準学習期間6か月の「**総合コース**」をお勧めします。

この他、テキストなどをすでにお持ちの方向けに、問題演習を中心に行うための午前ポイント集、最新問題集（予想問題集、本試験問題集）と模擬試験（2回）、論文添削（2回；午後Ⅱが論述試験のコース対象）をセットにした標準学習時間4か月の「**速習コース**」ほか、各コースのeラーニングなどメニューをたくさん用意しておりますので、ぜひご利用ください。

また、試験対策を受験対策のプロ講師が解説するセミナー「**合格ゼミ**」は、試験対策のノウハウや専門知識を効率的に理解できるセミナーと大変好評を頂いており、お勧めします。締切りの近いコース・セミナーもありますので、急いで確認しましょう。

各コースの内容は弊社のホームページからご覧いただけます。

<http://www.itec.co.jp/>

「合格への最短コース！ 合格ゼミ」

受験対策のプロの講師の講義で効率的な学習を進めましょう。

**定員に近い申込者数のコースもあります。お早めにお申込みください。**

<http://www.itec.co.jp/howto/seminar/index.html>

(以上)